

中学校 技術・家庭科

第18回全国中学生創造ものづくり教育フェア

「あなたのためのおべんとう」コンクール実施要項

- 1 目的 ○ 中学校技術・家庭科での学習した内容を生かし、おべんとうづくりを行う。その成果の発表を通して、知識や技能の向上を図りよりよい食生活を目指そうとする意欲を育てる。
- 食べてもらう相手のことを考えたおべんとうづくりを通して、身近な人とのかかわりの大切さや「食」の重要性を知る。
- コンクールを通して、参加者が互いの工夫点や技能を学び合い、また全国の中学生の交流の場とする。

2 会期 平成30年1月20日（土）～21日（日）

3 会場 〈競技会場〉女子栄養大学（駒込キャンパス）JR山手線・地下鉄南北線駒込駅より5分
東京都豊島区駒込3-24-3

〈全体会場〉葛飾区水元総合スポーツセンター
〒125-0032 東京都葛飾区水元1-23-1

4 日程

1月20日 競技会場（女子栄養大学）		1月21日 全体会場（水元スポーツセンター）	
時 程		時 程	
10:30	受付開始	9:30 ～10:00	おべんとうコンクール部門 講評、成績発表
11:00	開会式		
11:30	会場説明	12:00	全体会閉会式・表彰 開始
11:40	準備時間（米とぎや乾物の処理）	13:15	全体会閉会式 終了
12:10	競技開始	※準備時間の進み具合により、 競技開始の時刻が若干早くなること があります。ご了承ください。	
13:40	競技終了		
13:45	1分間のプレゼンテーション開始		
14:30	審査開始 明日の説明、連絡		

5 参加資格・方法

- (1) 各都道府県市（京都市・大阪市）中学校に在籍する生徒で、校長及び各都道府県市技術・家庭科研究会が参加を認めたものとする。
- (2) 各都道府県市（京都市・大阪市）における予選大会に参加する。
(各都道府県市大会につきましては、各道府県市事務局にお問い合わせください。)
- (3) 各都道府県市（京都市・大阪市）の代表（各1グループ）より、運営委員会にてレポート（レポートと材料表）審査を行い、全国大会出場グループを選出する。

6 参加費 2,000円 交通費・宿泊費は個人負担

7 参加人数 20グループ（1グループ、2人または3人のグループ競技とする）

8 審査項目

※「計画」については事前にレポートにより、「技能」「表現」については当日の競技により審査を行う。

計 画	食材・献立	食材・献立が対象者にふさわしいか。
	栄養バランス	対象者の食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすに準じ、栄養バランスが取れているか。
	規定課題	魚を主菜として効果的に調理し、おべんとうに適した献立になっているか。
技 能	手順	調理の手順や作業は能率的に行われているか。
	調理方法	おべんとうに適した調理方法が工夫されているか。
	盛りつけ	彩りや配置を工夫して盛りつけているか。
	味	個々の食材の味を生かし、おべんとうに適した味付けとなっているか。
	安全な作業	用具を適切に扱い、安全に配慮して作業を行っているか。
	環境への配慮	環境に配慮して調理を行っているか。(食材、水、熱源、器、洗剤 等)
表 現	完成	時間内に完成することができたか。(後片付けも含めて90分間)
	テーマ	テーマや構想がレポートやプレゼンテーションに反映されているか。

9 競技について

(1) 食材

- ① 規定課題「魚を使った調理」を主菜とする。
* 魚は、切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍等でもかまわない。
甲殻類(エビ、イカ、カニ)は規定課題とはみなさない。
- ② 材料費の目安は1人分800円以内とする。(人数分×800円)
- ③ 競技当日、基本調味料(塩・砂糖・コショウ・サラダ油・酒・みりん・醤油・酢)は、会場で用意したものを使用する。食材や特別な調味料は、各自で準備する。その際の計量は、時間内に行うこと。
(あらかじめ、小分けにしておくこと)

(2) 競技時間

- ① 片付けも含めて90分以内とする。
- ② 洗米吸水は競技準備の時間(競技開始前の30分間)に行ってもよい。(炊飯開始も可)
乾物等の処理も同様とする。
- ③ おべんとうのふたをしめて完成終了とする。

(3) 用具

- ① お弁当箱と小物は各自で選び持参する。色、形、大きさは食べてもらう相手にあったものを使用する。
※ お弁当として持ち運べる容器を使用する。皿等の食器への盛りつけは認めない。
- ② 調理器具は本部で用意するが、特別な用具等は各自持参してもよい。ただし、包丁は安全面を考え、持ち込みは禁止とする。(出刃包丁等も用意してある。)
- ③ 布巾、台ふきんは本部で用意したものを使用する。

(4) 服装

エプロン、三角巾、上履き(かかどがあり脱げないもの)、マスクは各自持参とする。

10 注意事項

- ① 2群については、各食品の重量で表記してください。(牛乳に換算しない)
- ② 主食がご飯の場合、米の重量なのか、ご飯の重量なのかを明記してください。
- ③ 競技当日、基本調味料は、会場にあるものを使用してください。
- ④ 持参する調味料は、あらかじめ分量を量って、小分けにしてください。
- ⑤ 食材等女子栄養大学に送らないでください。
- ⑥ 調理台の上に市販のラック等を使い、用具を置くスペースを増やすことはしないでください。(安全面・衛生面を考えて)

11 表彰

文部科学大臣賞 厚生労働大臣賞 女子栄養大学学長賞
公益財団法人つくば科学万博記念財団理事長賞 全日本中学校技術・家庭科研究会会長賞
日本家庭科教育学会会長賞 全国家庭科教育協会会長賞 など

12 参加申込

- (1) 申込期限 **平成29年11月 30日(木)**
(2) 申込先

〒241-0002 横浜市旭区上白根二丁目47番1号
横浜市立旭北中学校 主幹教諭 松山 弘子
TEL 045-955-1131 FAX 045-951-1354

- (3) 申込方法

所定の用紙に必要事項を記入し、学校長、49都道府県市技術・家庭科研究会の承認を経て申し込む。

- ① 参加申込書(応諾書) ※全国大会のものを使用
- ② あなたのためのおべんとうレポートのカラーコピー(材料表を含む) 1部 (原本を送らないこと)
- ③ メール申し込み ※応諾書以外にも hi04-matsuyama@city.yokohama.jp へ添付ファイルで送付ください。
※①②の用紙・③の書式: 全日中Webページ <http://www.ajgika.ne.jp/> よりダウンロード

日程	平成29年11月 30日(木)	申込み締切
	12月 2日(土)	審査
	12月 初旬	学校を通じて本人に審査結果を連絡

※結果連絡後、出場決定校は、レポート・材料表のカラーコピー12部を12月11日(月)までに送付

13 その他

- (1) 大会期間中の負傷、疾病については応急処置のみ行う。
- (2) 参加生徒の学校名、氏名、作品がWebページなどの掲載される予定。
- (3) 全日本中学校技術・家庭科研究会Webページアドレス <http://www.ajgika.ne.jp/>
- (4) 保険の加入について

競技参加者・表彰式出席者は、教員引率の場合は日本スポーツ振興センターの保険対象となります。
保護者引率の場合は、その対象になりませんので旅行保険等へ加入してください。
(インターネットで、「国内旅行保険」で検索してください。)

*本コンクールに関わる諸連絡、質問等の連絡先

横浜市立旭北中学校 主幹教諭 松山 弘子
TEL 045-955-1131 FAX 045-951-1354
e-mail hi04-matsuyama@city.yokohama.jp

※生徒氏名等の確認のため、参加申込書(応諾書)の郵送とは別に、「メール申し込み」もしてください。